



「誠実」が一番。そして自分の利益でなく、立場の弱い人たちのことを考えてほしい



言ったことはきちんとやってほしいです



居眠りしないでちゃんと働いて!



議員に一言!



インターネットや駅でも投票できるようになれば投票率が上がりそう



立候補した人が演説で「これをやります!」と具体的に言ってくれば、興味がわくかもしれないです



割引券とか、何か特典があれば投票率は上がると思う



投票率を上げるためのあなたのアイデアは?



### コミュニケーションがない社会はいやですね

近藤 「投票箱に入れる」という緊張感も含めて選挙(投票)だと思っからインターネット投票は絶対やってほしくないです。人が集まらなくなると、コミュニケーションがない社会になってしまうのはいやなので。

鈴木議員 確かに、直接会って話すのが一番いい形。私たちも試行錯誤中なんです。皆さんが望む「コミュニケーションがとれるまち」という最終的な目的がそこにあるとすれば、ネットやSNSはそのきっかけであってほしいですね。

神田議員 実際、議場に足を運んでくれる方の目は議員にとって大事。傍聴して「投票したあの、しっかり仕事をしているかな」という目で見てほしいと思います。寄居町議会では、日曜議会開催や議会のインターネット中継の検討など、いろいろの方法での情報発信を心がけています。議場見学してみても、議会を見てみたいって思った人いますか? (全員挙手) ありがとうございます。今日、そういう気持ちになってほしいな、と心の中にあつたので、本当にうれしいですね。

### 私たちの意識改革が必要

(司会) 「選挙権があっても行かない」という人がいましたね。無責任に投票はできないよと。では、どういった情報があれば選挙に行こうと思いを聞かせてもらえますか。

牧 今までは「選挙って口だけなのかな」と思っていたけど、今日、議員さんが何を広めたいのか、私たちにどうしてほしいのかを改めて教えてもらったと感じています。実際に話を聞いて「この人」と思った人に絶対投票しようと思えました。

柴崎 今日、議場で議席に座らせてもらって、少し興味がわきました。私たちも大人になってからではなく、**人ごとではない**と考えるなければいけないって思います。  
栗原 私も家に帰ったら親という話したい、前向きに考えて投票も行きたいと思えました。妹から「どうすればいいの」と、今聞かれたら答えられないけど、自分でも調べて、妹が18歳になる2年後、自分が20歳になるころには、**きちんと答えられる大人**になっていきたいです。

近藤 私は「アットホームな感じのまちにしたい」という意見を持っていましたが、どうしたらいいのかは考えようとしていなかった。でも今「そのために、自分はどうすればいいのかを考えよう」と思いました。  
木下 最初は投票には行かないと思っていて

みんな真剣ですね



これ知ってますか?



木下 やるうとしてしていることが具体的に書いてあるとか、写真が載せてあると、こちらも考えられると思います。

(司会) 情報としては、選挙の告示後に全戸配布される「選挙公報」と、町内110カ所に掲示しているポスター。でも「立候補者がどういう町をつくるうとしていいるのかわかりません」と言われてしまうと、**十分ではない**んだなと思いますね。

近藤 冊子やポスターがあっても、「これは親が見るもの」という先入観があります。情報を出す側でなく、私たちの意識改革があるといいんじゃないかなと思います。

栗原 私も同じ印象。わかりやすくして、高校生・中学生のころから知る機会があれば、いざ選挙権を持ったときに、もっと入りやすいんじゃないかなと思います。

### 「生の声」を聞きたい!

(司会) 確かに「若い人は選挙に関心がない、なぜだろう」と言っばかりではなく、わか

んですが、傍聴席を実際に見て、「自分から社会にふれていこう、良くしよう」という気持ちになってきたんです。それで、自分から**誰がいいかを選んで投票したい**と思えました。  
**被選挙権が下がらないのが驚きでした**  
(司会) 最後に、何かありますか?

栗原 今回選挙のことを調べていて、**被選挙権が下がらないことが驚き**で……。外国では被選挙権が同じぐらい(18歳)の国もあるのに、日本は「選挙は大人の人がやるものだ」というイメージがあります。だからアンケートで「選挙への興味」の数字が低いのかなとも感じていました。

(司会) 確かに、同級生が立候補したら、興味や関心も高くなるかもしれないですね。  
近藤 大臣とか上に行く人は、失礼ですが少しお年を召した方で……。いきなりトップにするのはおかしいけど、若い人の新鮮な意見を取り入れるって可能性はこの先ないのかな、と気になりました。  
(司会) 現在日本の被選挙権は25歳からですが、

寄居議会だより どうですか?



るような言葉で説明していくべきなんです。これは私たちにとって、**大いなる反省点**ですね。

栗原 中学生・高校生も、今のうちから情報がいけば、いざというときにそれが判断の材料になると思います。

牧 今の高校生はスマホに忙しくて、冊子をあまり読まないし、見ても自分関係ないと思っちゃう。できれば町内放送のように**耳に入ったほうがいい**と思うんです。町内放送で候補者の声(言葉)が流れば、もっと選挙を知るようになるんじゃないかなって思います。

柴崎 私も、講演とかで**議員さんの生の声**が聞けたほうが伝わっていいと思います。

### きちんと答えられる大人に

(司会) 選挙は、手を挙げた人(候補者)のためではなく、皆さんが誰を選び、どういう形をつくっていくかということ。誰かに託す(投票)、思いを実現してくれる人を探し、立候補する、全部含めて「選挙」です。改めて、

寄居町議会には現在、20代・30代の議員はいません。男女比は男性12人(80%)、女性3人(20%)です。もし18歳の皆さんが全員投票に行ったら、国政選挙、町の選挙でも何人かを、そして若い世代の人も必ず当選させることができる。アンテナを高く張って、平成28年の夏以降、自分たちの考えや思いをぜひ投票箱に入れていただければと思います。  
本日はありがとうございました。

### 座談会を終えて

今回の座談会には、議会だより編集委員の中から高校生に比較的年齢の近い3名が出席。若者の政治離れを嘆く前に、どのような取り組みを行っていくかを**わかりやすく伝えること**の大切さを痛感しました。寄居町議会としては、今後さまざまな試みを行う予定ですが、何よりも議員としての**生の声を届けること**、世代を超えた多くの方との**コミュニケーションが基本**であることを再認識しました。ご協力いただいた寄居城北高校の皆さんに感謝し、今後の寄居町議会にもご期待いただきたいと思います。



総務省 高校生向け副教材 「私たちが拓く日本の未来」



選挙管理委員会が各選挙ごとに発行し、有権者に配布するもので、立候補者全員の氏名・経歴・政見などが掲載されています。